



**令和3年度 コロナ影響下における今期施策
インバウンド再開・輸出促進に向けた2つの重点施策ご提案**

2021/04/05

株式会社アジアクリック
ASIAClick ASIA PACIFIC REGIONAL OFFICE PTE. LTD.

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国際的な渡航が完全に停止して1年が経ちました。

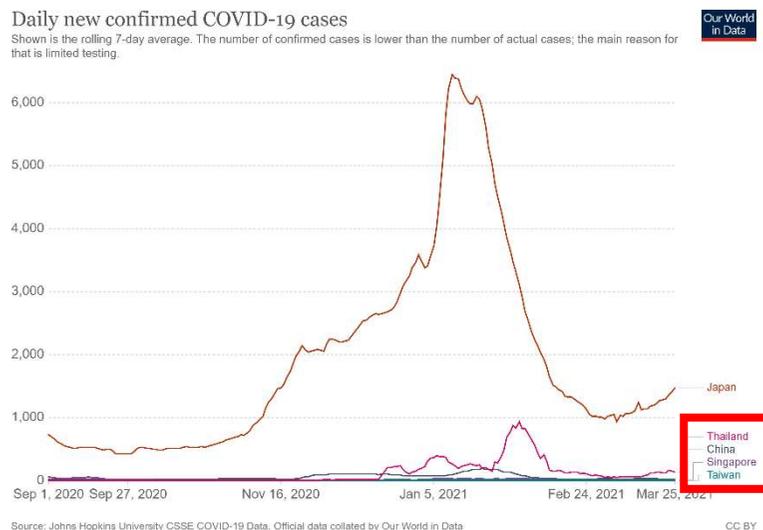
ただこの1年で世界は前進し、アジア太平洋地域を中心に完全に感染を抑え込んだ国々や、ワクチンの接種によって渡航を可能にしようとする動きが出てきています。

感染拡大を抑え込んだ代表例である中国や台湾、シンガポール、タイなどではすでに社会活動制限が徐々に緩和され、元通りの生活に戻ってきている国さえあります。

こうした国では、すでにワクチン接種が始まっていることもあり「さて、いつ海外旅行に行けるだろうか」という雰囲気も漂い始めている一方、国際情勢を見て悲観的にとらえる向きもあるのも事実です。

訪日観光インバウンドPRの令和2年度は、「いったいどうすれば、何をすればいいのか手探りの中」で一年間もがき続けることになりました。輸出事業についても、現地の状況が把握しにくい中、模索の一年だったかと思います。令和3年度は、この一年間の知見をもとに、再開する訪日インバウンド・また輸出の再促進に向けて、今現在できうる範囲での効率的な活動を行うこととなります。

今回はその中から私たちアジアクリックがおすすめする2つの施策をご案内します。



アジアクリック
高橋 学
小桑 謙一

- 2020年9月以降の新規感染者数（7日移動平均）グラフ。中国・台湾・タイ・シンガポールはほぼ抑え込んでいる。（タイのみ、2020年末から少し感染拡大が起こったが現在は抑えている）

ご提案の趣旨

令和2年度

コロナにPR計画が影響され、何をやるべきか模索した1年

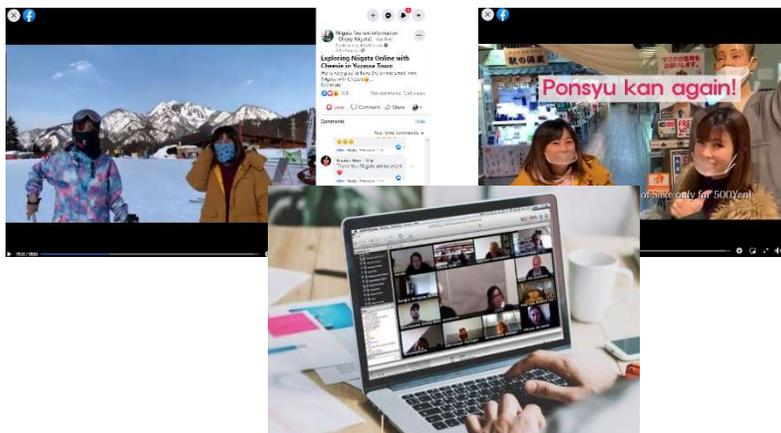
令和3年度

インバウンドの再開を見据え、今打つべき手を打つ年度に

ご提案①

オンラインイベント／FAMトリップ

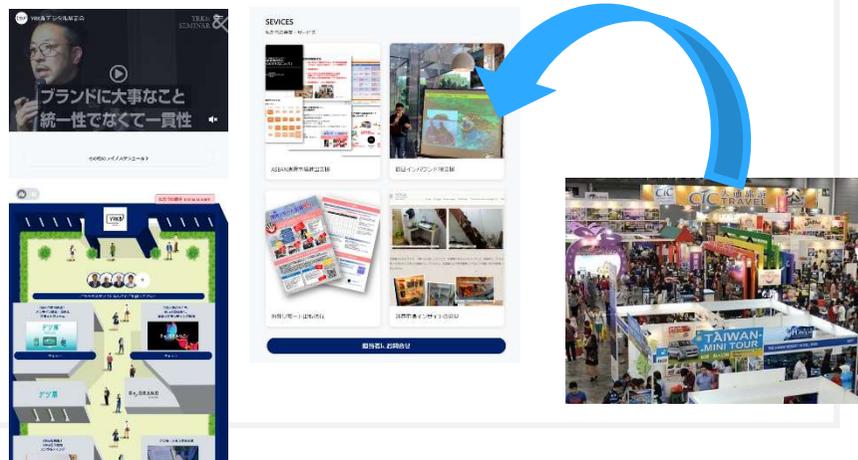
ただ現地中継するだけでなく、ひとつのTV番組のような構成にすることで動画作品としても、商談用のツールとしても使いインバウンド再開に向けた施策とします。特にBtoCでの観光+産業のPRが効果的です。



ご提案②

オンライン旅行博・商談会の独自開催

インバウンド再開を見据えて、「次の旅行先」になるために具体的な情報提供、接客による説明、パンフレット配布など既存の旅行博でやってきたことを完全にオンラインで実現します。また事前に商品を現地へ届けておき、試食しながらのオンラインイベントなどにも対応いたします。



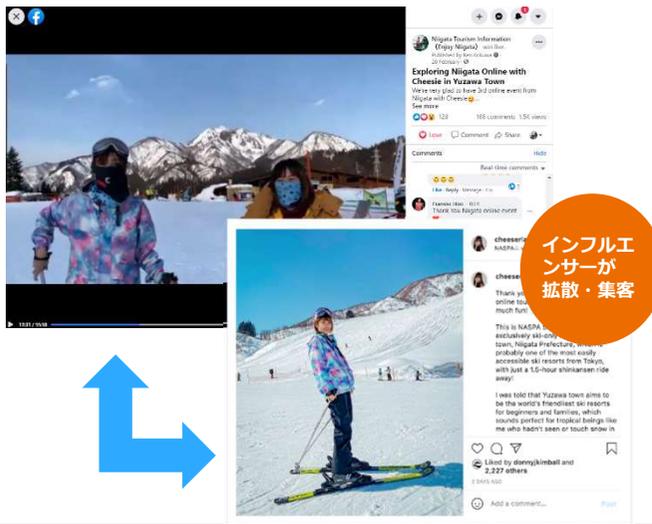
ご提案① オンラインイベント/FAMトリップ <ご提案のポイント>

在宅勤務によるZoomなどのツールの拡がりとともに、オンラインイベントは瞬く間に各自治体・団体・地域の間で実施されるようになりました。
ただその運営方法や内容は様々なものがあります。2021年度、重要なのはしっかりと印象深い内容を届けることと、インバウンド再開や輸出促進に向けた商談も組み込んでしまうことです。

ポイント①

インフルエンサーを活用、FAMとして実施することで拡散効果を得る

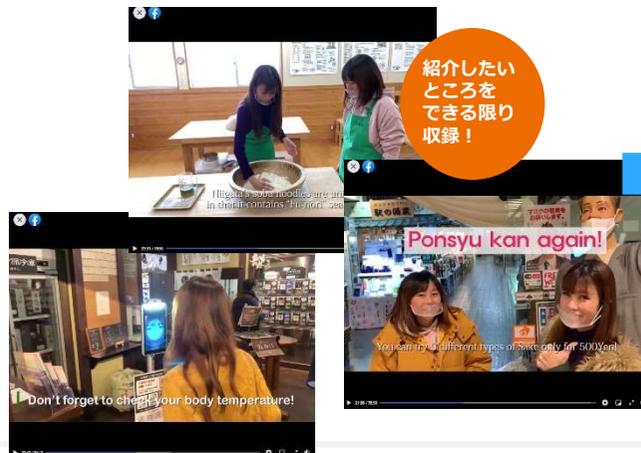
事前告知への協力、当日の様子を投稿などイベントを盛り上げる以外にも効果的です。



ポイント②

オンラインイベントとは別に同時に映像制作

生中継だけでは移動もできず紹介できる観光地に限られます。前日に取材した動画を即日編集し、イベント内で放送することで地域内の多くの場所を紹介できます。また、オンラインイベントにありがちな「間がもたない」問題も同時に解決します。



ポイント③

さらに、旅行会社・ディストリビューターとの商談のネタにする

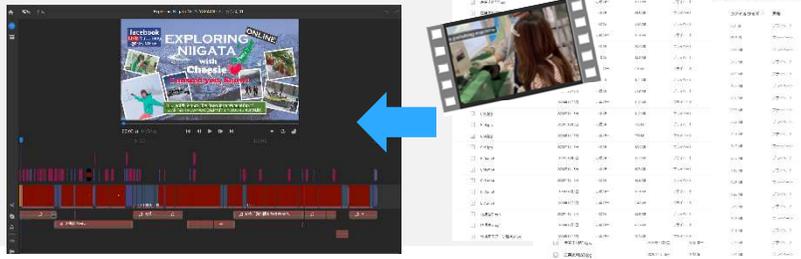
オンラインイベント/FAMトリップに取材動画も差し込んで制作すると、1本のTV番組のような仕上がりになります。これを商談会で見ていただくことで、通常のPR動画を見ていただくよりもリアルな質問や感想が飛び交い活性化します。



ご提案① オンラインイベント／FAMトリップ <実施概要>

1 FAMトリップ・動画制作

タイアップしたインフルエンサーに現地に来ていただき、観光地や生産地を周って動画を撮影。動画素材は編集拠点に転送してすぐに編集を始め、1日のFAMを1本の動画にまとめます（最大20分）。



2 当日オンラインイベント実施

現場からの生中継から始まり、昨日の動画放送、質問コーナーなど視聴者を空きさせることなくひとつの「旅番組」のような構成で行います。

※専用のオンライン配信ソフトウェアを使用しますので、Zoomの画面共有などにとられない自由な画面作りが可能です。

※ASEAN主要6か国
+インド+ミャンマー
配信対応可能です。



3 Youtubeへアップして Facebook連動キャンペーン

編集動画も含むオンラインイベント一式は、1本の動画としてYoutubeにアップロード。さらにFacebookにてクイズキャンペーンなどを実施して視聴数を上げるマーケティングに活用します。



4 旅行会社・ディストリビューター商談会

オンラインイベント動画はそれ自体がひとつの観光動画や地域産品のPR動画として見てもらえるものなので、これを活用して現地旅行会社との商談会を行います。FAMならではの盛り上がりや雰囲気を見てもらえるので質問なども具体的になり、印象深い商談になります。



新潟県様 観光オンラインイベント事例は下記よりご覧ください（3回シリーズ）。
<https://www.facebook.com/268469059052/videos/719398979008067>
<https://www.facebook.com/268469059052/videos/139975541000994>
<https://www.facebook.com/268469059052/videos/447125883145022>

ご提案② オンライン旅行博・商談会の独自開催 <ご提案のポイント>

オンラインイベントは映像を配信して見ていただける一方、従来の旅行博のようなマンツーマンでの資料の配布、接客やアピール・説明には向いていません。インバウンド再開に向かってまだ現状リアル旅行博が開催されない今、各国の旅行好き・日本好きにとっては「次どこに行くか具体的に検討できる場」を求めています。

ポイント①

資料配布・プレゼンテーション・接客など「リアルなイベント」でできることを再現

▼セミナー・ブース

▼動画・パンフレット
Webサイトリンク



パンフレットもPDF化して掲載!



ブースではテキストチャットもできます!



ポイント②

オンラインなので期間設定は自由・事後の追いかけコンタクトも可能

これまでのオンラインイベントだと3-4日間で終わってしまい、その間にイベントに参加した人と、「その時だけ」しか接点を持つことができませんでした。オンラインだと期間設定も自由、また後日改めて新しい情報をお送りするなどこれまでにない活用の仕方が可能です。

メルマガ事例▶

6	日	月	火	水	木	金	土	日	8
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31					



ポイント③

BtoBにもBtoCにも応用可能。もちろん他自治体との協同開催も可能

従来のリアルの旅行博は主にBtoCでしたが、一方でトラベルマートのようなBtoB商談会イベントも有効に活用されていました。ご提案のシステムを活用すれば、その両方に活用可能な展示会ブースを創ることが可能です。また、ブースの数はいくつでも設定可能。近隣自治体との協同事業として周遊をPRすることもできます。



ご提案② オンライン旅行博・商談会の独自開催 <ご提案のポイント>

「デジ展™」システムを活用し、イチからシステムを作ることなく独自のオンライン旅行博・商談会を開催するご提案です。

旅行博全体のイメージ



PC/モバイルから通常使用しているブラウザでアクセス可能：どなたでも、旅行博のリンクをクリックするだけでアクセスできます。

旅行博のメインステージ：動画を流したり、時間を決めたプレゼンテーションをここで上映します。

ブース：一つ一つが旅行博のブースのイメージです。自治体独自の旅行博の場合は、各地域ごと・団体ごとにブースを作ることができます。

ブースのイメージ



ブースTOP：ブースのトップには大きなイメージ写真を出して、すぐ下に観光動画を流すことができます。



パンフレット配布／Webサイト案内：ブースの中ではPDF形式のパンフレットを置いたり、Webサイトへのリンクを付けたりしてより深く知っていただくことができます。



テキストチャット：ログインしている担当者には気軽に声をかけてチャットで質問することができます。そのまま、Zoomなどを接続してより深い商談をすることも可能です。

※「デジ展™」はYRK andの商標登録サービスです。

※「デジ展™」の販売には代理店資格が必要ですが、アジアクリックはYRK andのシンガポール事業会社であるBUSINESS ENGINE ASIA PTE. LTD.と業務委託契約を結んでいますので当社を通してのご利用が可能です。

ASEAN各国からの複数国訪日インバウンドなら、ASIAClick
豊富な経験と各国に置いた現地スタッフとの連携で「地に足のついた」インバウンドを実現します。

企業概要



<日本法人>

会社名	株式会社アジアクリック
代表取締役	高橋 学
東京事務所	東京都中央区銀座1-22-11 銀座大竹ビジデンス 2F
登記住所	宮城県仙台市泉区向陽台5-1-17
資本金	1,000万日本円

<統括法人（シンガポール）>

会社名	ASIAClick ASIA PACIFIC REGIONAL OFFICE PTE.LTD. (シンガポール登記番号：ACRA No.201402841H)
Managing Director	TAKAHASHI MANABU
住所	20 Collyer Quay : #23-01, Singapore 049319
資本金	40,000シンガポールドル+ 300万日本円
従業員数	20名 (パート・アルバイト含む。シンガポール・マレーシアKL・タイバンコク・ベトナムホーチミン・東京・台湾・香港・中国・インドなど)
HP	http://asiaclick.jp

オフィス所在地

□バンコクオフィス
99/196, The Room79, Tower 2, Sukhumvit 79
Road Phra Khanong, Watthana,
Bangkok 10260 Thailand



□シンガポールオフィス
20 Collyer Quay : #23-01, Singapore 049319
(ラッフルズプレイス駅3分)
Tel: +65 6653 8305 (英語/日本語)



□台湾デスク
台北市松山區南京東路五段154號7樓



□東京デスク
東京都中央区銀座1-22-11
銀座大竹ビジデンス 2F
Tel: 03-6811-7240 (日本語)



主な業務委託実績

<訪日インバウンドPR業務受託実績>

- ・東北観光推進機構（ASEAN）
 - ・岩手県レップ（タイ王国）
 - ・秋田県レップ（タイ王国）
 - ・山形県レップ（タイ王国）
 - ・新潟県レップ（ASEAN）
 - ・茨城県レップ（タイ王国）
 - ・宮城県仙台市国際観光PR（ASEAN・台湾香港）
 - ・福島県会津若松市レップ（タイ・台湾）
 - ・栃木県日光市（タイ王国）
 - ・東武鉄道株式会社（ASEAN）
-
- ・秋田犬ツーリズムインバウンド定性・定量調査（台湾、香港、タイ、シンガポール）
 - ・愛知県、岐阜県、三重県広域周遊PR、ツアー実施（タイ王国）
 - ・長崎県 現地調査、グルイン、デジタルPR（台湾、香港）
 - ・長崎県、熊本県、大分県3県広域ドライブ周遊企画、PR実施（香港）
 - ・佐世保市メディアFAMトリップ招請（タイ王国）
 - ・北海道とんがりロード現地プロモーション（タイ王国）
-
- ・日本政府観光局(JNTO) 現地調査、グルイン、執筆等（シンガポール、フィリピン、ベトナム）
 - ・中小機構 四国サイコーダイガク訪日クラス企画、運営、講師（台湾）

<SNS業務受託実績>（上記と一部重複）

- ・岩手県：タイ人向けFacebook
- ・会津若松市：タイ、台湾人向けFacebook
- ・東武鉄道：アセアン向けメルマガ
- ・藤田観光株式会社 全国のワシントンホテルグループのデジタルPR（ASEAN）
- ・学研プラス：アジアカメラマン12万人Facebook
- ・シャトレーゼ：シンガポールFacebookページ

他、自動車業、白物家電業、ECサイト運営、化粧品業、など民間でのPR、調査実績多数。

